



※この取扱い説明書は必ずお施主様へお渡してください。

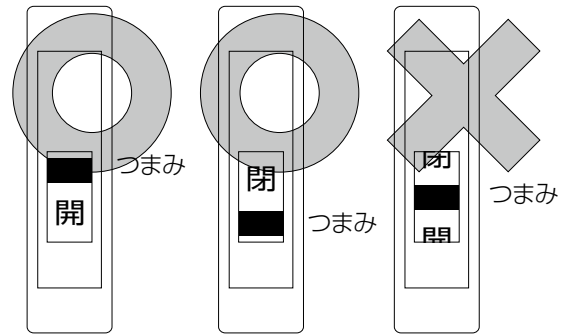
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

お 願 い …特に注意を促したり強調したい情報で、指示にしたがわないと機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

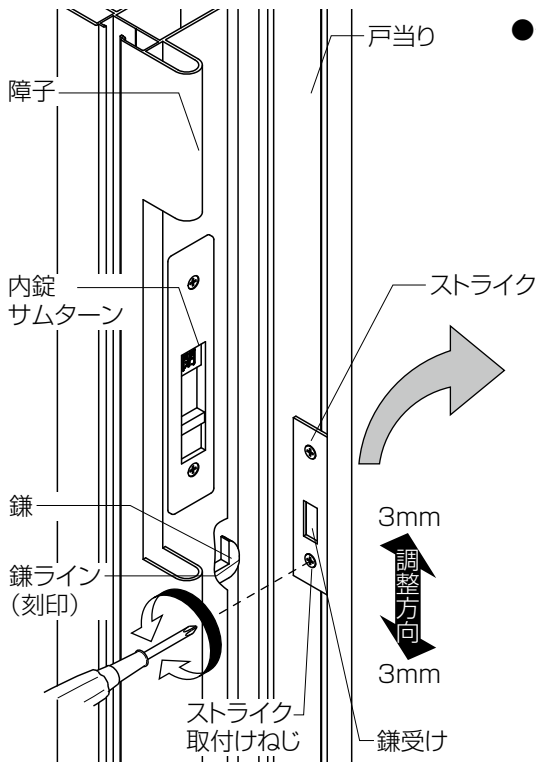
冒頭に記載していますので、必ずお読みください。

●お願い

●つまみは必ず上端(開錠)または、下端(施錠)の位置で使用してください。
途中で停止した状態で使用すると思わぬ時に施錠状態になることがあります。

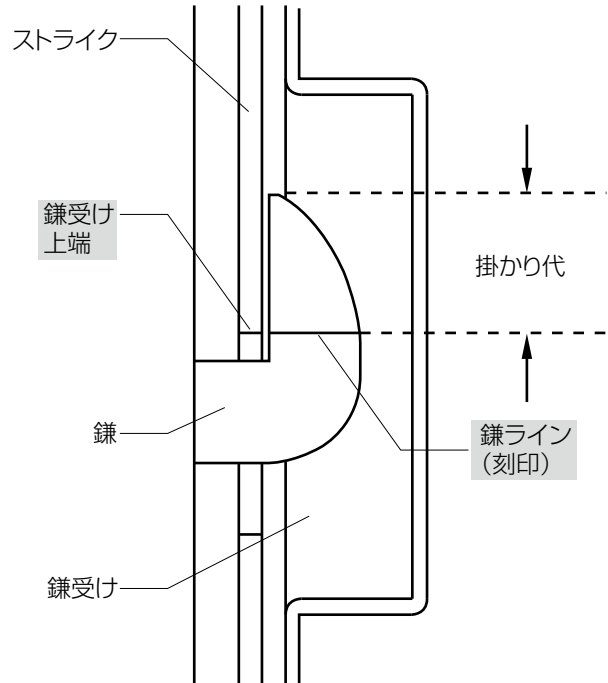


■戸先錠ストライクの調整方法



- 障子を少し開けたまま鎌を出して鎌のかかりしろを確認します。
鎌中央部のライン(刻印)をストライクの鎌受け上部ラインにあわせてください。
- 位置があっていない場合は、ストライク取付けねじを軽くゆるめてストライクの位置を調整してください。

■ストライク鎌受け部(施錠状態)



■お手入れ方法

- 木造住宅では、時間の経過に伴い、建具の調整が必要になりますので、ストライクの位置を点検してください。
- 鎌部分に付着した汚れが錠内部に侵入すると鎌の作動が悪くなります。
時折、柔らかい布又はスポンジで汚れを拭き取ってください。

●当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。